

# 教育センター学びの丘研修員研修における学びについて

和歌山市立楠見小学校

教諭 西本 広樹

今回、研修員として学びの丘で研修することを、「自己の専門性を向上させるための研究」と、教員としての資質・能力を広く高める修養の機会」と捉え、1年間研鑽を重ねてきた。

研究では、昨年度の自身の実践を振り返りながら、様々な文献や先行論文を読み進めるとともに、学びの丘所員からの指導助言を得ることで、特別支援教育に関する知見を深めることができた。自立活動の指導を通して行う支援の方法等についても学び、実践することができた。これらの経験を来年度以降の学級経営や学習指導、子供への関わり方等に生かしていく。

修養では、研修員研修や教育センターで実施される各種研修講座を受講し、これまでの学級経営や学習指導の基本となる考え方について振り返るとともに、今日の教育的諸課題とその解決方法等について学んだ。来年度以降は、校務分掌などに率先して取り組み、ベテラン教員や若手教員、そして管理職等と連携して学校経営に主体的に参画することで、研修での学びを教職員間で広く共有し、還元していく。

今年度身に付けた、学びに向かい探究し続ける姿勢を忘れず、より一層の研鑽を重ね、教員としての資質・能力の向上に努めていきたい。